

令和
5年度

橋梁技術発表会 講演会

参加費
無料定員
200名申込
先着順

及び

新型コロナウイルスの感染拡大により中止となる可能性があります。

第1部	14:00~14:10	開会の辞	北海道土木技術会 鋼道路橋研究委員会委員長 松本 高志
技術発表	14:10~14:50	① 鋼橋におけるDXの取り組み ~鋼橋事業の生産性・安全性の向上~	DX推進特別小委員会
	14:50~15:00	休憩	
	15:00~15:40	② 被災した橋梁の撤去 ~川島大橋上部工の撤去事例~	架設小委員会
	15:40~15:50	休憩	
第2部	15:50~16:50	北海道土木技術会・ 鋼道路橋研究委員会の活動と成果	北海道大学名誉教授 林川 俊郎 
16:50~17:00	閉会の辞	(一社)日本橋梁建設協会 副会長 川田 忠裕	

日時

令和5年

10月27日 (金)

14:00~17:00

会場

かでのる2・7かでのるアスピックホール(1F)
札幌市中央区北2条西7丁目

申し込み

Webサイト <https://www.jasbc.or.jp/>
受付は令和5年9月27日~10月17日
※申し込みは、Webサイトからのみです。

連絡先

一般社団法人 日本橋梁建設協会 北海道事務所
〒060-0061 北海道札幌市中央区北1条東1丁目4-1
サン経成ビル川田工業(株)内
TEL 011-232-0303

継続教育

CPD対象

CPDS希望の方は学習履歴の
受講証明書を持参してください。

開催地区

- 東京地区: 10月13日(金)
 - 中部地区: 11月10日(金)
 - 大阪地区: 10月20日(金)
 - 九州地区: 11月17日(金)
 - 北海道地区: 10月27日(金)
 - 東北地区: 12月4日(月)
- (6地区開催ですが、発表テーマは異なります)

資料配布

会場では配布いたしません。必要に応じてWeb
サイトより出力し持参願います。

【アクセス】



- JR札幌駅南口: 徒歩13分
- 地下鉄 さっぽろ駅(10番出口): 徒歩9分
- 大通駅(2番出口): 徒歩11分
- 西11丁目駅(4番出口): 徒歩11分
- JRバス北1条西7丁目(停留所): 徒歩4分
- 中央バス北1条西7丁目(停留所): 徒歩4分
- 公共地下歩道(地下歩行空間から北1条地下駐車場連絡口をお通りください) 1番出口: 徒歩4分

1 鋼橋におけるDXの取り組み

日本橋梁建設協会や会員会社が取り組んでいるDXに関する事例を紹介します。今回の発表内容は、①建設業の現状と課題、②i-Constructionの動向、③DXの取組、④CIMの動向の4つの項目を挙げています。

建設業の現状と課題では、建設業就労者数の減少と高齢化という課題を図示して説明しています。就業者数に加えて、労働生産性の推移についても他産業と比較したグラフを示し、課題として挙げています。次に、i-Constructionの動向として、平成27年に国交省より発表された目的や全体イメージを提示した後、現時点のBIM/CIMの動向を示しています。

鋼橋におけるDXの取組は、①測量・地質調査、②設計・施工計画、③工場製作、④施工、⑤検査・納品、⑥維持管理の6項目に分類して、各々の具体的な事例を紹介しています。また、今後、活用が期待される要素技術も合わせて紹介します。

最後に鋼橋のDX技術の最たるものであるCIMの動向として、自動設計システムや自動原寸システムの概要、3次元モデルの自動生成やデータ連携の説明、および具体的なCIMモデルの活用事例を報告します。

2 被災した橋梁の撤去

本工事は、豪雨による出水にて被災した橋梁を架け替える災害復旧事業の内、橋梁上部工を撤去する工事です。

工事の特徴として、橋梁通行止めによる近隣住民への影響の大きさから緊急性が求められ、倒壊の可能性がある状態で作業を行うことから専門性も求められました。また、出水期や非出水期、休日や夜間にかかわらず作業を行う必要性があった事も特徴になります。

撤去方法は、比較的、一般的な工法を用いています。ただ、突然に降って湧いた工事であったため、監督員や職員等の人材不足のまま少人数で協議から計画、作業を行っています。本工事は、少人数で短期間に実行できた事が大きな成果だと感じています。

本発表では、上部工撤去の方法に至った経緯と撤去内容について報告します。

特別講演会 講演者紹介

北海道大学名誉教授 **林川 俊郎**

講演テーマ

北海道土木技術会・鋼道路橋研究委員会の活動と成果

【略歴】

昭和47年3月 北海道大学工学部土木工学科 卒業
 昭和49年3月 北海道大学大学院工学研究科修士課程 修了
 昭和49年4月 北海道大学工学部助手
 昭和63年8月 北海道大学工学部助教授
 平成 9年4月 北海道大学大学院工学研究科助教授
 平成16年4月 北海道大学大学院工学研究科教授
 平成22年4月 北方圏環境政策工学部門寒冷地建設工学分野教授
 平成25年4月 北海道大学名誉教授
 平成27年4月 (株)ネクスコ・エンジニアリング北海道 技術アドバイザー
 平成27年6月 (株)ドーコン顧問 現在に至る

【講演概要】

鋼道路橋研究委員会の活動内容と得られた成果を特に設計指針の作成を中心に紹介する。また、北海道三大名橋の紹介と、その中でも「旭橋」が一度も床版を取り換えることなく長寿命であることを歴史、技術、人物といった3つの視点から考察する。そして、戦後架設された北海道内の道路橋から優れた橋梁を「新北海道三大名橋」として紹介する。

令和5年度

橋梁術発表会

北海道地区

10月27日(金)

参加申込方法▶



一般社団法人 **日本橋梁建設協会**
Japan Bridge Association

ホームページよりお申込み下さい。

<https://www.jasbc.or.jp/>

「技術発表会」
の申し込みはこちら。